

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除不能・進行再発大腸癌に対する FOLFOXIRI+Bevacizumab の有効性と安全性の検討
	研究目的	根治手術の適応とならない病変を有する大腸癌患者に対して、本邦において 2016 年に FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法が保険収載されました。同化学療法は強力な抗がん作用を有する一方で、副作用も多いことが問題点として挙げられます。そのため、比較的元気な患者を対象とした臨床試験の結果のみではなく、それ以外の患者を含めた実臨床における有効性や安全性に関して、十分な追加検討が必要であると考えられます。そこで当院において上記化学療法での治療を施行した患者の治療経過を振り返り、治療成績を確認・解析することで、今後同化学療法による治療を行う患者に有用な情報を得ることを目的としております。
	研究対象者	2016 年 1 月～2019 年 12 月まで、当科において FOLFOXIRI+Bevacizumab による治療を行った患者
	研究期間	西 暦 2020 年 4 月 13 日 ～ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	塩澤 学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属病院 風間慶祐